

# 連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1278 2024/03/014 (Thu)

発行 広島高校連絡会事務局

Email [renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp](mailto:renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp)

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)

## 「LGBTQ+」って何？ ちょっと考えてみませんか？

最近ニュースやSNSなどでよく見かける「LGBT」の文字。

「Lesbian(レズビアン)」「Gay(ゲイ)」「Bisexual(バイセクシュアル)」「Trans-gender(トランスジェンダー)」の頭文字をとってうまれた言葉です。現在ではこの4つにあたる人たちだけでなくセクシュアルマイノリティ(性的少数者)全般を指す言葉として「LGBTQ+」という言葉が使われるようになりました。QはQuestioning(クエスチョニング:自分の性についてわからない人や特定の枠に属さない人)、Queer(クィア:セクシュアルマイノリティ全体を指す包括的な言葉)を表します。



### ドキュメント映画の上映会「愛で家族に 同性婚への道のり」

3月2日(土) 広島市のひと・まちづくり市民交流プラザで「愛で家

族に 同性婚への道のり」の上映会がありました。2019年5月、台湾では特別歩の成立によりアジアで初めて同性婚が合法的に認められるようになりました。3組のカップル(台湾で娘を育てているレズビアンカップルのファミリー、35年間人生を共にしてきたゲイカップル、マカオ出身の二人が一緒に暮らすために同性婚に希望をつなぐゲイカップル)に焦点を当て、なぜ結婚平権(結婚の平等)を求めるのか、その実現に向けてどのような道のりをたどったのか、とい

ったことをパレードなどの映像を交えながら描いたドキュメンタリー映画です。2020年第33回東京国際映画祭ワールド・フォーカス部門上映作品です。

#### ジェンダー平等とは程遠い日本の現実から、目をそらすず!

日本では非正規労働者の7割は女性。給与所得者の平均給与は287万円と男性の54%にすぎません。ジェンダー平等を国際基準に

するには、日本が「女性差別撤廃条約の実効性を高める選択議定書」に批准することが必要です。男女格差や性暴力、あらゆるハラスメントの被害をなくし、誰もが自分らしく生きられる社会、ジェンダー平等の実現に向けて声をあげ、行動していきましょう!

(望月照巳)



### お気づき

▼「責任を取る」ことと、決定する権限は、セットだ。かつての廣高教組運動のように「責任は管理職にあって、決定権は組合が持つ」方針に違和感を持っていた▼またSNS上では「ネットウヨ」たちが、匿名で聞くに堪えない攻撃を繰り返す世界が広がっている▼実は、「責任は誰も取ることが出来ない」けれども、「それは私の責任です」という人が増えることに、「この責任はだれがとるのだ!」と言われるような事態になる可能性が低くなってゆく▼松竹問題では、残念な立ち位置に居る内田樹氏(師匠と私が勝手に位置付けている)の主張を冊子にしてみました。是非一読ください▼勤務先の職場で、「汚染魚」発言をしたような人は、保育現場にふさわしくない旨の、匿名反共文書が投げ込まれた。職員を中心にすべきスタッフからも「配慮すべきではないか」との意見が出される▼反共攻撃のネタは、何でも良いのであって、一歩引いたら、更に攻撃が強まるだけ、「解同」との闘いの教訓は生きている。

2024/03/14